

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 25 年度
1次評価日（主幹等）	26年3月31日
2次評価日（課長等）	26年3月31日

1 事業名	生涯学習推進事業	コード	103107
-------	----------	-----	--------

2 担当部課	部等 教育部	課等 生涯学習課	作成者 立道 一嘉
--------	--------	----------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち		
		政 策	生涯学習の推進	施 策	社会教育の充実
		予算科目	生涯学習推進事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）
事業の概要 （簡潔に）	市民と歩むまちづくり講座開催事業及び学びのおかやサポート事業を行い市民の生涯学習推進を図った。	
目的	対象者	全市民
	意 図	市民の生涯学習の推進

5 事業の実施内容		*25年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容
<p>○ 「成長樹（期）子育て実践ポイント」活用事業 おかや子育て憲章具現化の取り組みとして、子育てのポイントを年齢期毎にまとめたパンフレット「成長樹（期）子育て実践ポイント」を、母子手帳交付時等を中心に配布した。 また、更なる活用を進めるために、リーフレットの見直しを行った。</p> <p>○ 市民とあゆむまちづくり講座開催事業（岡谷市職員出前講座） 市民の生涯学習活動をより一層推進するため、職員が地域へ講師として出向き、市政についての講座を開催した。・メニュー 7部門・82講座・実施件数91件・延べ2,458人</p> <p>○ 学びのおかやサポート事業 地域の教育力を学校教育、社会教育、社会体育の場で活用するためボランティア名簿登録者を派遣したほか、広くボランティアの参画を進めた。 ・加入者数 249人</p> <p>○ 地域子ども施策安全保険料負担金 地域における子ども施策事業の安全を担保するために、保険料（全国子ども会会費）を全額公費負担した。「放課後子どもの居場所づくり事業」へも繋げ、地域住民が安心して活動出来る環境づくりに寄与</p>		
前年度の課題への対応	成長樹（期）子育て実践ポイントの見直しを社会教育委員の会議に諮問し、成長期に応じて分冊化するなど大幅なりニューアルを行った。	

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区 分		23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 活動指標（指標名）	利用件数				単位 件
	実績値	93	128	91	
	*指標の説明	「市民と歩むまちづくり講座」参加件数			
② 成果指標（指標名）	「市民と歩むまちづくり講座」参加者数				単位 人
	目標値	2,817	3,247	4,190	2,458
	実績値	3,247	4,190	2,458	
	達成度	115.3%	129.0%	58.7%	
	*指標の説明	講座に参加した市民の延べ人数及び講師派遣数			
*目標値の設定方法の説明		前年度の実績			

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	849,774	762,118	1,018,728	892,000
経常経費	308,374	762,118	1,018,728	892,000
臨時的経費	541,400	0	0	0
* 臨時的経費の説明				
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(見込み)
② 人件費	2,400,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000
正規職員の人数(人)	0.30	0.50	0.50	0.50
③ 合計コスト(①+②)	3,249,774	4,762,118	5,018,728	4,892,000
前年度比		146.5%	105.4%	97.5%
財源				
一般財源	2,984,800	4,762,118	5,018,728	4,892,000
内訳 特定財源	264,974	0	0	0
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	29,122	37,204	55,151	
前年度比		127.8%	148.2%	
⑤ コストに関する補足説明	コストについては、成果指標が事業費と連動していないため増となっている			

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0	0
	割合	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 58.7%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 58.7%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 生涯学習推進の根幹である第5次岡谷市生涯学習推進計画（平成27年度～平成31年度）の策定を進める。
	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 第4次岡谷市生涯学習推進計画を検証し、第4次岡谷市総合計画後期基本計画を踏まえる中で検討をする。
改善方法	
改善開始時期	平成26年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	A
-----------	--------	---	---